

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（令和5年度第2回）

日 時：令和6年3月14日（木）9：00～12：00
場 所：岡山県立総社南高等学校 図書館
参加者：9名（欠席0名）

（1）令和6年度の合同司書部会・研修について

●第1回司書部会について

日時：令和6年4月25日（木）13：30～16：30

（初任者研修：10：00～12：00）

場所：岡山県立図書館

- ・午前中に初任者研修、午後から全体連絡と支部ごとの協議・連絡・サポート交流を行う
- ・合同研修Bは第2回より実施
- ・バックヤードツアーは12：00～12：30
- ・Libmax・Libfinderに関して、初任者向け説明 16：00～16：30
説明を受ける人以外は基本情報アンケートセット、片付け。
- ・県立図書館共同主催
- ・初任研担当者は派遣依頼が午前中から出席とわかるように文書に担当者を明示。

●研修A, Bのありかたについて

- ・司書によって経験に差があるので、全体研修を実施することは難しい。今年度同様、初任者と経験者は研修を分けた方がよい。
- ・第1回目は午前中に初任者のみが研修を行うが、第2回以降はどうするか？
→今年度と同様の形式だと、初任研担当者が研修Bを受けることができない。
→県立図書館の活用に役立つ、より具体的な説明の実施ほか、講師派遣制度等を利用し、第2回以降は県立図書館職員が初任者研修の講師を担当する方向で調整する。
→第1回で初任研に出た人も、第2回・第3回で研修A（県立図書館からの初任者研修）か研修B（経年者研修）のどちらかを選択して受講することができるようにする。第2回・第3回は基本的には連続して同じ研修を受けることが好ましいが、ある程度は流動的に対応する。
- ・研修Bについて
→第2回・第3回のみ実施。内容は研修班で考える。
- ・支部研修について
→全回を合同にする方が係等の担当者同士は話がしやすいが、発表準備などで支部での協議時間が必要な場合もある。ローテーションや組織構成の見直しなども必要。今後検討していく。

●第2回司書部会の時期について

- ・7月2日（火）の予定で県立図書館を仮押さえ。

(2) で一れ一BOOKSについて

- ・54冊のエントリーから大賞が決定した。
→ポスター・チラシを各校に配付する
- ・全国SLAから、来年度の全国SLAの大会（8月8日～10日）で一れ一BOOKSについての発表依頼が来ている。読書推進班を中心に準備を進める。発表は動画形式。

●文学フェスについて

- ・3月9日・10日に開催された「おかやま文芸小学校」（「おかやま文学フェスティバル」内イベント）にで一れ一BOOKSがブース出展した。たくさんの来場者・出版社と話ができて、学校図書館の宣伝としての効果はあった。
- ・来年度の出展に関してはいったんお断りの返事をしているが、高校図書館のPRのために「掲示物を貼るだけでもいいので参加してほしい」という要望を受けている。
→公務として参加するには役員会での承認が必要になる。5月の役員会までに決定が難しいため、事業計画には「適宜広報活動を行う」という文言を記載してはどうか。
- ・参加する場合は、ティーンズコーナーの成果物を転用するなど、業務負担を減らす工夫が必要となる。令和6年度第1回司書部会の全体連絡で参加校を募る。

(3) 学校図書館システム・横断検索システムについて

- ・蔵書検索システムに関する要望は、業者に伝える前にMLに投稿もしくはシステム担当班に連絡する。使い方に関する質問・エラーなどは各校から直接ソフテックに連絡する。
- ・県立図書館：R7年度（2月～3月）にシステム更新を予定。学校支援システムも変更になるため、来年度は司書部会内に連絡係を置いて情報共有と連絡調整を行う。

●県立学校の横断検索について

現状：私立・市立も閲覧可能。（希望校はシステム班担当者に連絡し、ID・PWを聞いて閲覧する）

今後：県立図書館より、学校セットの選定担当者も閲覧可能にしてほしいという要望あり。

→令和6年度第1回の司書部会で全体に提案する。

●Libfinderの24時間化について

- ・現状では24時間化は実現できていないが、引き続き要望していく。
- ・Libfinder未公開校：使い方も利用意義も分からない、という学校も存在する。引き継ぎもできておらず、パスワードも分からない状態。第1回司書部会でLibfinderについて説明する時間を設ける。

(4) 岡山県高校図書館司書部会HPの管理について

- ・担当者が変更となる。

(5) 高等学校図書館間サポート事業について

- ・A,Bそれぞれにアンケートを実施した。
- ・サポート担当校に問い合わせがあった例もあれば、サポート担当校以外（何らかのつながりがあった人など）に聞いた例（その後担当者に共有）もあった。

- ・システム関連の質問はソフテックに連絡、県立図書館搬送便関連は県立図書館に連絡するのが基本、という点を周知する必要がある。
- ・B（サポートを受ける側）→A（サポートする側）への移動について、条件付きで可能と回答した学校が3校。
- ・サポート事業を外部にも周知することで、臨時職員を正規職員がフォローしている状況を知ってもらい、正規職員の採用や職員体制の改善につなげていきたい。

（6）3支部司書部会全体に関わる事柄について

●基本情報アンケートについて

- ・データベースに関する回答の選択肢を変更。
- ・第1回の司書部会に参加しない学校の基本情報アンケートについて
→来年度は自校で印刷したものを幹事校へ届ける（持ち込み・郵送など）
- ・司書部会に参加せず、基本情報アンケートを提出しない学校でも、アンケート自体が引継資料になるので、作成することが望ましい。

●来年度の役割について

- ・来年度のネット研メンバーの決定

●ブクログについて

- ・これまでフォーム投稿、直接投稿を併用していたが、今後は全支部とも直接投稿に統一する。でーれーBOOKSもタグをつけて直接投稿にできると便利である。（ブクログからデータの出力も可能。後に確認済）
→第1回初任研でブクログの投稿方法をレクチャーする。

●研修マニュアルの引き継ぎについて

- ・司書部会アカウントのドライブに共有し、担当者が閲覧できるようにする。

（7）学校図書館活用教育研究委員会より

- ・今年度の事業計画で、全校の全教員を対象に学校図書館の利用に関するアンケートの実施を計画していたが、アンケート内容が精査できていないため保留中。アンケートの実施に関しては、来年度も継続して検討課題としていく。

意見

- ・全教員を対象とするのではなく、探究担当、教科主任など、対象を絞る方がよいのでは。
- ・結果をどう生かすのかが不透明。
→まずは数校で試験的に実施する？

（8）県立図書館より

- ・学校セットについて：選書を学校司書にも協力してもらいたい。
- ・県立図書館から学校図書館の状況を把握するためのアンケートを実施する予定。
- ・来年度県立図書館が20周年となる。県内図書館や学校図書館の振興につながる事業も実施したいと考えているので、協力をお願いしたい。

（9）その他